



11月24日は、各務原にんじんの日

(いいにんじん)

各務原にんじんの特徴

オレンジ色が
濃い

カロテンが多く
栄養豊富



甘みが強くて
おいしい

1年に2回
収穫できる

11月24日は、「いいにんじん」の語呂合わせで、各務原にんじんの日です。「各務原にんじん」は、色鮮やかで、甘くておいしいことが特徴です。鵜沼地区の畑を中心に栽培されています。5月から6月に収穫される「春夏にんじん」と、11月から12月に収穫される「冬にんじん」の年2作どりを行っている全国でも珍しい産地です。栽培地には「黒ボク土」とよばれる土壌が広がっています。保水性・透水性・通気性などに優れたその地質が、色鮮やかなにんじんを育てるのに適しているといわれています。産地では土作りや輪作体型等に取り組み、収穫機や選別機等の機械化を進めながら効率的なにんじんづくりに努めています。

にんじん畑



各務原にんじん
キャラクター
かかみちゃん



伝えよう日本の味



新嘗祭

11月23日勤労感謝の日は、もともと「新嘗祭」という、農産物の収穫をお祝いし、感謝するお祭りが行われた日でした。食べ物の命と、食べ物を作ってくれる人、おいしく料理してくれる人、食にたずさわる全ての人に感謝の気持ちを忘れずに、よく味わっていただきましょう。

七五三

七五三は7歳、5歳、3歳の子どもの成長を祝う行事です。七五三に食べられる「千歳飴」は、江戸時代に、子どもの健やかな成長と長寿の願いを込め、「長く伸びる」という縁起にあやかって、おめでたい紅白の長い棒飴が作られたことが始まりです。袋には「寿」の文字や、「鶴は千年、亀は万年」も生きるといふ縁起のいい絵柄が描かれています。

